



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月8日

上場会社名 シーキューブ株式会社 上場取引所 名
 コード番号 1936 URL http://www.c-cube-g.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 渉
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 長谷川 英明 TEL 052-332-8023
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	12,117	7.1	129	—	214	161.2	135	436.4
30年3月期第1四半期	11,313	6.6	6	—	82	—	25	—

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 190百万円 (9.8%) 30年3月期第1四半期 173百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	5.05	—
30年3月期第1四半期	0.94	—

(注) 平成31年3月期第1四半期の営業利益の対前年同四半期増減率は、1,000%を超えるため、「—」と記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	49,266	36,625	72.7
30年3月期	52,038	36,721	68.9

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 35,792百万円 30年3月期 35,845百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	6.00	—	10.00	16.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期 (予想)	—	8.00	—	—	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年3月期配当金の内訳 普通配当14円00銭、特別配当2円00銭

31年3月期 (予想) 配当金の内訳 普通配当6円00銭、記念配当2円00銭 (創立65周年記念配当)

当社は、平成30年5月9日開催の取締役会において、株式会社協和エクシオを株式交換完全親会社、当社を株式交換完全子会社とする株式交換を行うことを決議し、同日付で株式交換契約を締結いたしました。また、本株式交換は、平成30年6月27日開催の第65回定時株主総会において承認されました。これにより、当社株式は平成30年9月26日をもって上場廃止になる予定であるため、平成31年3月期業績予想並びに期末配当予想の発表を控えさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）
—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
—

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	27,644,699株	30年3月期	27,644,699株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	759,505株	30年3月期	759,505株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	26,885,194株	30年3月期1Q	26,930,452株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、平成30年5月9日開催の取締役会において、株式会社協和エクシオを株式交換完全親会社、当社を株式交換完全子会社とする株式交換を行うことを決議し、同日付で株式交換契約を締結いたしました。また、本株式交換は、平成30年6月27日開催の第65回定時株主総会において承認されました。これにより、当社株式は平成30年9月26日をもって上場廃止になる予定であるため、平成31年3月期業績予想並びに期末配当予想の発表を控えさせていただきます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、中期経営計画「SGK2020」（平成28年度～32年度）STAGE IIの初年度として、①一般設備工事、情報サービス事業の飛躍的拡大（challenge）②通信設備工事の基盤事業としての強化（change）③次世代に向けた新たな収益の柱の創造（create）を進め、事業構造の改革の遂行に取り組み、グループ一体で様々な施策展開を積み重ねてまいりました。その結果、受注高126億91百万円（前年同四半期比92.8%）、売上高121億17百万円（前年同四半期比107.1%）、営業利益1億29百万円（前年同四半期営業利益6百万円）、経常利益2億14百万円（前年同四半期比261.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては1億35百万円（前年同四半期比536.4%）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 通信建設事業

受注高は110億25百万円（前年同四半期比90.6%）、売上高は104億51百万円（前年同四半期比106.6%）となり、セグメント利益（営業利益）は3億95百万円（前年同四半期比186.4%）となりました。

② 情報サービス事業

売上高は16億65百万円（前年同四半期比110.7%）となり、セグメント損失（営業損失）は2億83百万円（前年同四半期セグメント損失（営業損失）2億18百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は492億66百万円（前連結会計年度末520億38百万円）となりました。その減少の主な要因は、受取手形・完成工事未収入金等の減少によるものであります。負債は126億41百万円（前連結会計年度末153億17百万円）となりました。その減少の主な要因は、未払法人税等及び1年内返済予定の長期借入金の減少によるものであります。純資産は366億25百万円（前連結会計年度末367億21百万円）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、平成30年5月9日開催の取締役会において、株式会社協和エクシオを株式交換完全親会社、当社を株式交換完全子会社とする株式交換を行うことを決議し、同日付で株式交換契約を締結いたしました。また、本株式交換は、平成30年6月27日開催の第65回定時株主総会において承認されました。これにより、当社株式は平成30年9月26日をもって上場廃止になる予定であるため、平成31年3月期業績予想並びに期末配当予想の発表を控えさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	10,156	11,778
受取手形・完成工事未収入金等	18,710	12,169
未成工事支出金	2,010	2,428
商品	96	1,129
仕掛品	46	209
材料貯蔵品	359	410
その他	631	750
貸倒引当金	△9	△7
流動資産合計	32,001	28,868
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,221	4,173
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	976	958
土地	8,131	8,131
その他（純額）	105	152
有形固定資産合計	13,433	13,415
無形固定資産		
のれん	94	408
その他	522	490
無形固定資産合計	617	898
投資その他の資産		
投資有価証券	4,280	4,403
繰延税金資産	1,053	985
その他	726	770
貸倒引当金	△75	△75
投資その他の資産合計	5,985	6,083
固定資産合計	20,037	20,398
資産合計	52,038	49,266

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	6,027	5,314
短期借入金	1,410	1,530
1年内返済予定の長期借入金	798	198
リース債務	57	77
未払法人税等	853	107
未成工事受入金	175	224
賞与引当金	530	264
役員賞与引当金	109	26
工事損失引当金	107	125
その他	2,517	1,940
流動負債合計	12,587	9,808
固定負債		
長期借入金	180	168
リース債務	98	141
再評価に係る繰延税金負債	313	313
役員退職慰労引当金	230	236
退職給付に係る負債	1,849	1,906
その他	57	66
固定負債合計	2,729	2,832
負債合計	15,317	12,641
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,104	4,104
資本剰余金	3,804	3,804
利益剰余金	28,499	28,365
自己株式	△152	△152
株主資本合計	36,256	36,122
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,257	1,337
土地再評価差額金	△1,715	△1,715
退職給付に係る調整累計額	47	48
その他の包括利益累計額合計	△411	△329
非支配株主持分	876	832
純資産合計	36,721	36,625
負債純資産合計	52,038	49,266

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高		
完成工事高	9,809	10,451
商品売上高	1,504	1,665
売上高合計	11,313	12,117
売上原価		
完成工事原価	9,074	9,476
商品売上原価	1,218	1,415
売上原価合計	10,293	10,891
売上総利益		
完成工事総利益	734	975
商品売上総利益	286	249
売上総利益合計	1,020	1,225
販売費及び一般管理費	1,014	1,095
営業利益	6	129
営業外収益		
受取利息及び配当金	41	46
受取保険金	1	0
保険解約返戻金	-	8
受取賃貸料	18	18
持分法による投資利益	-	3
その他	23	15
営業外収益合計	84	93
営業外費用		
支払利息	2	2
賃貸費用	5	4
その他	0	1
営業外費用合計	8	8
経常利益	82	214
特別利益		
固定資産売却益	3	3
その他	0	-
特別利益合計	4	3
特別損失		
固定資産除売却損	3	1
その他	-	0
特別損失合計	3	1
税金等調整前四半期純利益	82	216
法人税、住民税及び事業税	57	71
法人税等調整額	18	36
法人税等合計	76	107
四半期純利益	6	108
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△18	△27
親会社株主に帰属する四半期純利益	25	135

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日）
四半期純利益	6	108
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	160	80
退職給付に係る調整額	6	1
持分法適用会社に対する持分相当額	-	△0
その他の包括利益合計	166	82
四半期包括利益	173	190
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	190	216
非支配株主に係る四半期包括利益	△16	△26

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

株式会社協和エクシオとの株式交換契約締結について

当社は、平成30年5月9日開催の取締役会において、株式会社協和エクシオを株式交換完全親会社、当社を株式交換完全子会社とする株式交換を行うことを決議し、同日付で株式交換契約を締結いたしました。また、本株式交換は、平成30年6月27日開催の第65回定時株主総会において承認されました。

本株式交換の結果、株式会社協和エクシオは当社の完全親会社となり、完全子会社となる当社の株式は平成30年9月26日付けで上場廃止（最終売買日は平成30年9月25日）になる予定です。

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

（セグメント情報）

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	通信建設事業	情報サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,809	1,504	11,313	—	11,313
セグメント間の 内部売上高又は振替高	47	89	137	△137	—
計	9,856	1,594	11,451	△137	11,313
セグメント利益又は損失(△)	212	△218	△5	12	6

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	通信建設事業	情報サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,451	1,665	12,117		12,117
セグメント間の 内部売上高又は振替高	46	108	154	△154	—
計	10,497	1,774	12,271	△154	12,117
セグメント利益又は損失(△)	395	△283	111	18	129

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。